

留 学 報 告 書

記入日:2018年8月4日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学研究科 仏文学専攻
留学先国	フランス共和国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: パリ第3大学(ソルボンヌ・ヌーベル) 現地言語: Université Sorbonne Nouvelle (Paris 3)
留学期間	2017年8月～2018年7月
留学した時の学年	博士後期課程2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	博士前期課程2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	ILPGA (LLD) / 一般応用言語学音声学研究所 (文学言語学教育学部) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年8月19日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～12月末 2学期:1月中旬～6月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	17873人
創立年	1970年(新制度大学としての認可年)

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	6600	(858000)円	
食費	1000	(13000)円	
図書費	300	(39000)円	
学用品費	100	(13000)円	ノートやコピー代など
教養娯楽費	300	(39000)円	オペラ鑑賞や美術館入館料など
被服費	200	(26000)円	冬用の防寒着や夏用の薄着、下着など
医療費	200	(26000)円	学生健康保険料
保険費		80000円	形態:東京海上日動社の海外旅行保険
渡航旅費		160000円	
雑費	700	(9100)円	フランス国内旅行費
その他	1020	(104000)円	水道・電気代・携帯電話
その他	750	(97500)円	定期代
その他	65	(8450)円	住宅保険掛金
合計	11235	240000円	1700550円(1ユーロ/130円)

渡航関連

渡航経路:

渡航費用

チケットの種類 FIX/OPEN

往路 _____

復路 _____

合計 _____ 163860 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

旅行代理店の HIS のウェブサイトから検索・購入しました。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

一般のアパート

2)部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数 _____)

3)住居を探した方法:

住宅情報のインターネットサイト

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

早く探し始めても、見つからないときは見つかりません、フランス語がある程度できるのであれば、現地で探すことも考えられますが、住宅契約は大変煩雑ですから、覚悟が必要です。自分で対処できないと思った場合は、ためらわずに、留学先大学の留学生のオフィスなどに助けを求めべきです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

相談窓口はありましたが、利用しませんでした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

犯罪に巻き込まれたことはありません。大使館からのメールや現地の新聞で情報を集めました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話の月額使用料は Free という会社で電話・メール・インターネット無制限の sim カードのバック料金は 20 ユーロ / 月でした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

LCL 銀行で現地口座を開設(住居証明・フランスの在学証明・VISA が必要)しました。そこに、外貨プリペイド・カードから引き出した現金を入金して生活費にあてていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

化粧水や洗顔フォームは、日本で売られているタイプのものを見つけるのが大変です。横罫ノートを見つけるのも難しいです。使い捨てカイロを販売しているのを見ることがありません。パスタ用トングの販売価格は高めです。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
明治大学の大学院ウェブ・サイト
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。 学事カレンダーを帰国 1 カ月ほど前から、よく確認し始めた方がよいです。(論集の事前登録など)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:卒業単位は足りているため)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cours de langue semestriel groupe B	外国語としてのフランス語 グループ B
科目設置学部・研究科	Didactique du Français Langue Etrangère
履修期間	2017 年 9 月～12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループ・ワーク、プレゼン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	M. Sylvain TANQUEREL
授業内容	外国語としてのフランス語の授業です。会話と筆記両方の能力を効率よく開発する工夫がされたクラスでした。発言が求められることも多い印象でした。
試験・課題など	特定のテーマに関する発表と論述中心の筆記試験で成績が決まります。
感想を自由記入	先生はフレンドリーで接しやすい方でした。クラスの学生と近くの salon de thé で休憩したりした思い出もあります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Syntaxe et sémantique : les renvois syntaxiques au discours	統辞意味論 : 統辞分析から談話分析へ
科目設置学部・研究科	Littérature et Linguistique Françaises et Latines
履修期間	2017年9月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mme Florence LEFEUVRE
授業内容	主に短いコーパスを用いて、従来の照応分析では扱えない要素の分析を試みる講義。
試験・課題など	発表とレポート10ページ程度
感想を自由記入	担当の先生の授業の進め方に関してですが、データは渡されるのですが、その分析方法に関しての指導が少ないので、自分で補う必要がありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Morphosyntaxe	形態統辞論
科目設置学部・研究科	Institut de Linguistique et Phonétique Générales et Appliquées
履修期間	2017年9月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mme Jeanne-Marie DEBAISIEUX / Mme Pollet SAMVELIAN
授業内容	2名の異なる研究者による形式統辞分析に関するセミナー。変形生成文法と代名詞分析法とによる異なる視点からの統辞論の講義を受けることができる。
試験・課題など	中間・期末試験
感想を自由記入	1つの科目で2つの理論を勉強できるので、効率的とも考えられるが、講義の進むスピードが若干早く感じた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Syntaxe 2	統辞論 2
科目設置学部・研究科	Institut de Linguistique et Phonétique Générales et Appliquées
履修期間	2017年9月～12月
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	M. Kim GERDES
授業内容	依存文法理論によるフランス語を対象とした統辞分析をゼロから説明する講義です。
試験・課題など	オンラインでの中間・期末試験
感想を自由記入	講義後もパワーポイント資料を確認できるので大変助かりました。講義のスピードも速すぎませんでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Syntaxe 2	統辞論 2
科目設置学部・研究科	Institut de Linguistique et Phonétique Générales et Appliquées
履修期間	2017年9月～12月
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	M. René LACROIX
授業内容	類型統辞論の講義ですが、例を示す場合はなるべくフランス語の例を使うよう配慮されていました。
試験・課題など	スマートフォンのアプリケーションによる小テスト と 中間・期末試験
感想を自由記入	講義スピードは適切で、資料も分かりやすかったです。また、学生に積極的に発言を求める先生でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Langue française	フランス語
科目設置学部・研究科	Didactique du Français Langue Etrangère
履修期間	2018年1月～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループワーク、プレゼン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mme Anne DEBEUCKELAERE
授業内容	外国語としてのフランス語の授業です。バランスの良い授業でした。映像教材を使ったトレーニングや毎回短い文書を宿題として作成するなど課題が出されました。
試験・課題など	テーマに沿った文書作成課題(毎週)、試験とレポート
感想を自由記入	この講義では、毎回宿題の採点結果を返されるのですが、その際、どうしてその点数になったか、説明が詳しく、その後の改善に役立ちました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sémantique formelle	形式意味論
科目設置学部・研究科	Institut de Linguistique et Phonétique Générales et Appliquées
履修期間	2018年1月～5月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と演習(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Mme Pollet SAMVELIAN / Mme Marie MARCIA
授業内容	真偽条件のレベルの意味分析の方法論に関する講義と演習です。
試験・課題など	中間・期末試験
感想を自由記入	講義の受講者が多く、見やすい位置に席を確保するのに苦労しましたが、逆にそれだけ定評のある講義ということもできます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Syntaxe 1	統辞論 1
科目設置学部・研究科	Institut de Linguistique et Phonétique Générales et Appliquées
履修期間	2018年1月～5月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と演習(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Mme Pollet SAMVELIAN / M. René LACROIX
授業内容	統辞論の基本的内容の講義と演習ですが、中心は生成文法理論ひとつである X'理論による統辞分析です。
試験・課題など	中間・期末の筆記試験
感想を自由記入	演習(TD)でのフォローがしっかりしていたので、安心して受講できました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Exploration informatique de corpus annoté	コーパス分析における情報機器の活用
科目設置学部・研究科	Institut de Linguistique et Phonétique Générales et Appliquées
履修期間	2018年1月～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	M. Kim GERDES / Mme Ioana GALLERON
授業内容	比較的大規模なコーパスの情報を処理する方法論の講義です。会話コーパスと古典文学を対象とする2名の異なる領域の研究者による講義です。
試験・課題など	2本のレポート
感想を自由記入	この講義には、パソコンの持参が必要で、分析に必要なフリーソフトをインストールしたりする必要もありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	Institut de Linguistique et Phonétique Générales et Appliquées
履修期間	2018年1月～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	M. René LACROIX
授業内容	類型統辞論の中でも特に、意味役割のマーキング様式の世界的なパターンに関する講義でした。担当するのは Denis Creissels から影響を受けた先生です。
試験・課題など	中間・期末試験
感想を自由記入	試験では、誤答に対し減点があるので厳しいと感じましたが、講義では、学生からの質問に丁寧に答えてくれる親切な先生でした。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	アンスティチュ・フランセ、欧州連合、明治大学などが主催する留学イベントに参加し情報収集をする。
8月～9月	願書など必要書類の作成準備
10月～12月	出願
2017年 1月～3月	さらに、留学イベントに参加し情報収集をする。家探しを始める。
4月～7月	ビザの取得・Campus France の手続きを行う。
8月～9月	渡航 留学生向けガイダンス・秋学期開始・授業登録 OFII へ必要書類を送付
10月～12月	12月に期末試験
2018年 1月～3月	春学期開始・授業登録
4月～7月	5-6月に期末試験 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	留学しよう決めた理由は、現在の研究領域であるフランス語の統辞論に関する知識や最近の研究動向に関する情報を入手したかったからです。やはり、フランスの方が資料も手に入りやすくまた、日本ではあまり主流とは言えないような領域の研究をされている研究者の方も沢山いらっしゃいます。つまり、パリ大学はフランス語統辞論に関して幅広い角度から研究できる場所であると言えます。そうした豊かな研究環境で、今後の自分の研究内容をより深めたいと考えました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	その地域の公用語能力は大学での研究や学習以前に、生活上必ず必要になります。日本での英語の普及率はどの程度でしょうか、フランスでの英語の通用度も大して変わりません。大学内や一部の観光的な地区での英語の通用度は例外的に高いのですが、日常生活や最低限の行政手続きの中では、必ずフランス語でのコミュニケーションが必要になります。場合によっては、学生用アパートの管理人さんが、フランス語しか話せない方である場合もあるようです。
この留学先を選んだ理由	フランスは意外に知られていませんが、ヨーロッパ構造主義ベースの言語学研究的の発祥地であり、現在でも、パリはその中心地のひとつであり続けています。とはいえ、私の所属する研究所の ILPGA には多様な背景をお持ちの研究者の方が沢山所属されていて、学べる分析理論は必ずしも、構造主義的なものだけではありません。加えて、あまり日本での研究があまり盛んでない領域の研究者も沢山所属されているため、概して、日本の大学での学習よりも個別の領域に関して、深めることができます。そうした理由が、留学先の選択の背景にありました。
大学・学生の雰囲気	大学の雰囲気というと、個人的に感じた点を記述させていただくとすれば、パソコンやプリンター、スキャナーなどの電子機器の大学での貸し出しが無いか充分では無いことに大変驚きました。そうした、ハード面での研究・教育資源の整備は後回しになっている印象です。これは前述の研究者や領域の領域の多様性と表裏の関係になっていると考えられますし、けた違いに低額の学費のことを考えれば、仕方のないことではないかと理解しました。
寮の雰囲気	私は、寮に住んでいなかったもので、分かりません。というのも、当初入寮を希望していたのですが、Stalingrad 駅界隈での面識のない人とのルームシェアを提案されました。この界隈は、はっきり言って治安があまり良くない地域ですし、面識のない人との壁ナシの生活というのにもかなり不安を覚えました。そのため、最低レベルの住環境を望める物件探しは、自分で行う必要がありました。最終的には、郊外の混住地区に住むことになりましたが、南の郊外でしたので、安全面ではかなり良い環境を得ることができました。
交友関係	学内での交友関係は、あまり広くありませんでした。というのも、パリ第3大学にはチューター制度があり、協定留学の担当事務局の斡旋で、現役のパリ第3大学の大学生や大学院生を紹介してくれます。ただ、留学生とパリ大学の学生を引き合わせるためのパーティーがあったのですが、そのさい調整がうまく行かなかったようで、最後まで会うことができませんでした。とはいえ、パリには日本人も多いですし、在仏邦人のご家庭にパーティーに度々呼んでいただいたり、以前からのフランスの友人と余暇を過ごしたりしておりました。
困ったこと、大変だったこと	困難は様々あったのですが、2点紹介すると、住居探しと健康保険加入があげられます。まず住居探しですが、パリ市は慢性的な住宅不足で、特に低価格な学生用物件は政府の介入などにもかかわらず、数が足りていないのが現状です。不動産会社の不手際もあり、最終的に3軒の物件を移りました。決まった住所が無いと、OFII や銀行口座開設など、他の手続きにも支障が出るので、非常に困りました。そして、健康保険も留学保険ではカバーされない既往症の治療に必要になりますが、その加入手続きにも様々な公的書類が必要となりますが、翻訳証明やアポスティユなどの書類を強く要求され大変困惑しましたが、最終的には、必要書類の一部(翻訳証明)を欠いた状態でも、手続を終えることができました。

学習内容・勉強について	講義には一般の辞書だけでなく、専門領域によると思いますが、専門の用語集などを使う必要があると思います。つまり、講義について行くためには、講義資料に加えてそうした基本的な資料も確認しておく必要かあるということです。ただし、先生によっては、独特の術語の使い方をする方もいらっしゃいます、そうした場合、多くは講義の中で説明・注意があるので、聞き逃さないようにする必要があります。例えば、marqué という術語の使い方に関して、一般的な用法とは異なる「記号素や統辞環境により区別された」という意味で使う先生がいらっしゃいました。
課題・試験について	試験を受けた印象としては、そこまで難しい内容が含まれているわけではありませんでした。先生側の要求としては、複雑な理論を理解したり、難しい術語を知っていることより、講義の内容をよく理解していることを試験で確認したいという考えが、感じられました。ですから、講義・ゼミに関しては、とにかく各回の内容の理解とできていれば、試験も問題なく終えることができると思います。また、レポート課題に関しては、レベルごとに多くの解説書が沢山売られていますので、それらが大いに参考になると思いますし、文書作成能力をサポートする目的の留学生用のクラスも開講されていました。
大学外の活動について	大学での学習・研究以外での場面で、組織だった活動に参加することはありませんでした。あまり定期的に時間がとれる保証が無かったので、そうした活動への参加は、難しい印象を受けました。ただ、邦人のための現地学校の発表会に行ったり、日本語の専門コースのある大学のイベントに参加したり、以前登録していたベルサイユ大学のアシエーションが企画する歴史的スポットの見学会(コメディー・フランセーズやロダン美術館のオーガナイズされたガイド付き見学)などに参加したり、単発的な交流を行いました。
留学を志す人へ	フランスでは行政関係や不動産関係など、いろいろな手続きに時間がかかることがあります、その際、「待っているだけでいいのか」と不安になりますが、私は当初やみくもに行政機関に問い合わせたり、複数の友人に相談したりして、時間を浪費してしまいました。私は、今回の経験から、むしろ待つことも肝要だと感じました。待っている時間を有効に活用したり、「何が何でもこれ」と決めつけずに、次善の策を考えたりすることが、精神衛生上も大切です。例えば、健康保険は大学の窓口で加入金さえ払ってれば、手続きが終わっていない段階で診察・処方を受けても、feuille de soins(要医師・薬剤師のサイン)という書類を加入手続き終了後に提出すれば、還付を受けられます。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	家事/身支度	家事/身支度	家事/身支度	家事/身支度	家事/身支度	就寝	就寝
	大学	大学	大学	大学	大学	余暇	余暇
午後	大学/課題	大学/課題	大学/課題	大学/課題	大学/課題	買い物	余暇
	大学/買い物	大学/買い物	大学/買い物	大学/買い物	大学/買い物	買い物	余暇
夕刻	家事	家事	家事	家事	家事	余暇	余暇
夜	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝